



TITLE:

天文語「一行」辭典

AUTHOR(S):

CITATION:

天文語「一行」辭典. 天界 1932, 12(132): 143-144

ISSUE DATE:

1932-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161899>

RIGHT:

天文語[一行]辭典

- 錨** 星 我が國の讃岐地方でカシオペヤ星座を呼ぶ俗稱。
イタリヤ Italia ロマ、ナポリ、フィレンツェ、トリノ、ミラノ等に天文臺あり。
位置角 天球上の或る大圓と時圈との間に挟まれる角。
イデラ | L. Ideler 獨逸の天文史家。
イデルソン Idelson 露國レニングラード天文研究所、計算部長
緯度 赤道からの角距離
地心緯度 地球の中心で測る緯度。實際觀測は出来ないが、算出し得。
地表緯度 地球の表面で測る緯度。
地理緯度 地理學上の緯度。
測地緯度 地表の測量(例へば、三角測量など)によつて決定される緯度。
天文緯度 天體觀測によつて決定される緯度。
緯度觀測所 岩手縣水澤町其他世界數ヶ所にあり、協同觀測す。
緯度の變化 地軸の變動による緯度の變化。
イトリウム 第39番の化學元素、Y. 原子量88.7太陽中にあり。
イーシン Y-hsing 支那の唐の天文僧一行〔其の條を見よ〕。
イーストン C. Easton 和蘭の天文家。1898年來、銀河系は一つの渦形星霧なりと主唱。
池田昌意 江戸の曆算家 春海以前に貞享曆を創意す。用ひられず。
石坂常賢 天文家、1818年_L分度星圖^ヲを作る。
イソスタシ | Isostasy 地殼の壓力が地下一定の所で過不足相償ひ平均してゐるとの説。
稻葉通義 理學士、京都花山天文臺員、昭和4年京大卒(1904—)
戌 十二支の第十一番、新城博士によればオリオン星座の文字化。
犬星 天には三つの犬星座があるが、主には大犬星座を言ふ。
犬星 大犬座の星即ち_Lシリウス^ヲを言ふ。
伊能忠敬 測地學者。日本全國を測量、製圖す。(1750—1820)
井上四郎 東京三鷹天文臺助手 1932年退官(1872—)
亥の日 日本舊曆の十月の初亥の日、古昔、病を拂ふため餅を食つた。
磯永孫四郎 薩摩の曆學者1763年の日食を豫言す。
射場天文臺 神戸市射場氏經營。1930年創立。
イブンユニス Ibn Junis 中世エジプトの天文家、ハケム表を作る(950—1008)
居待ちの月 日本舊曆の毎月十八日の月。
入相 日没のこと。
イリス Iris 古代ギリシャの虹の神。又、第7小遊星 1847年ハインド發見。
イリス灣 Sidus Iridum 月面のインブロス海北岸の圓弧形の灣、徑100軒。
イリヂウム Iridium 第77番化學元素 原子量193.1天體スペクトル中には無し。
イリニウム 第61番の化學元素、1924年米國イリノイ大學で發見。Il.

- イリノイ** Illinois 大學天文臺. 米國イリノイ州ウルバナ市にあり.
- 入 り 日** 西に没する太陽.
- 海 豚 座** トレミ1星座の一, 鷲座の東隣, 初秋の夕暮れ南中す.
- 色 温 度** 星のスペクトル中の色の分布で定める其の表面の有効温度.
- イルフォド** Ilford 英國ロンドン市外の小邑, 其所にイルフォド寫眞乾板會社がある.
- 色 ガ ラ ス** 色付けられた硝子, 寫眞暗室に用ひ又天體寫眞用スクリン等に用ふ.
- 色 消 し** 屈折により生ずる色を消すための裝置.
- 色消しレンズ** 色消しのため凸凹二板のレンズを組み合はす.
- 色 指 數** 恒星の色の差別. 普通は寫眞光度と眼視光度との差で表はす.
- 色 收 差** レンズの色消し不充分のため現はれる殘色.
- 色 寫 真** 特殊な光波を用ひて撮る寫眞.
- イワノフ** Ivanoff ロシアの天文家 1923—1930年間ブルコフ天文臺長. 其後追放
- イワノ井チ** Ivanowitch ロシアの天文家.
- 陰** 陽の反對, 物のかげ, 消極的, くらやみ等の意.
- 陰 極** 電氣や磁石の陰の極.
- 陰 性** 陰の性質.
- 陰 畫** 寫眞乾板に表はれてゐるまゝの畫. 凡て陰陽反對に表はる.
- 陰 極 線** 眞空放電の際, 陰極から發射する電子流.
- インクリネ | ション** Inclination 傾斜角. (軌道面の位置など表はす語)
- 引 數** Argument 或る數を求めるための他の數値, 「近日點引數⁷」など.
- 因 數** Factor 一部分又は原因となる數.
- 隕 石** 天空より落下する礦石, 流星の特殊のもの. 全世界に約1000あり.
- 隕 鐵** 隕石の一種で, 鐵を主成分とす, 世界最大のものは重さ100噸.
- イ ン チ** Inch 英國の尺度, 2.540 $\overline{}$ に當る, 日本の8寸4分弱.
- インヂウム** Indium 第49番の化學元素原子量114.8 天體スペクトル中に在り.
- インド 人 座** Indus 秋の夕暮れに南中する星座. 日本内地からは見えない.
- インドの天文學** 三千年前から起り, バビロン, ペルシヤ, 支那等と交渉あり.
- イ ン ド ラ** Indra インドの神. 天地宇宙を司配す.
- インブロス海** Mare Imbrium 月面北部にある大海.
- 陰 陽** 二元論的な對稱的な言語.
- 陰 陽 曆** 太陽の運行と月の運動とを共に考慮した曆. 例は日本の舊曆.
- 陰 陽 歲 差** 太陽と月との引力のために地軸變動し, 春分點が西進すること.
- 陰 陽 五 行 說** 古代支那に起つた宇宙哲學說, 萬物の根源を木火土金水とす.
- 陰 陽 道** 陰陽五行說に立脚する一種の宗教哲學.
- 陰 陽 の 會** 陰陽說に言ふ上吉の辰, 陰と陽との會合する日を言ふ.
- 陰 曆** 嚴密には月の運行のみによる曆, 例マホメト曆, 又「陰陽曆⁷」.
- 引 力** 壓力に反し, 物の相ひ引く力. 例へばニュートンの萬有引力.